

## 夜のこの空と

夜のこの空とかさねた先の色  
抱いたまま今もここに  
いつも描いている  
肌を濡らしひかり綴じて

夜のこの風とさかまく葉の紋様  
殺したまま今もここに  
朽ちて老いている  
陰の中にひかり綴じて

からだを借り声と共に  
今も凍っている

からだの中に咲いてくれよ  
枯れていくよ

欠けていくよ

## 雨露

遠く彼方の火となり宿り  
ただゆるゆると灯火眺め

水滴が一刺しの  
波紋を広げるよ  
居並ぶ色達も  
ゆらりゆらり舞い降りる

飛ぶ事さえもしなりと忘れ  
まばゆい月に己さざなむ

朧げに儂くも  
雨音聞き流し  
流れる水を汲み  
冷たく覆われて輝く

## バーディ

鳥が墮ちてくる  
最後の授かりを得るために  
次から次へと

震える空に散る  
重力は消えて無くなり  
次から次へと

## 何人半人

黒く濺んだ何人よ  
五体まともに飛廻る  
立ち消え浮かぶ波状の枝と  
返す視界に身をつつみ

指先身体に固められ  
己一人で肘重ね  
軋む夜空の隅々に  
我を失い姿変わり

せせら笑うは他人の空似  
嘘は言葉の主となり  
弱い姿に覆われて  
雨に打たれて成りすまし

三界を飛び越えまたぐ  
想念はチドリチドリと  
何者と問いに答えぬ半人よ  
そろりそろりと吹かれていくよ

## 空を瞬く

ゆれる木々は僕に言葉をかして  
流れる葉にひとつ終わりを翳す  
見上げる空割れて星は壊れて  
何もいない夜に祈りつづける

語る声は僕の言葉を消して  
触れる骨を削いで喉に突き刺す  
月あかりも潤れて瞳も濡れて  
何もいない夜に祈りつづける

去れよこの身よ  
空を瞬いて

羽ばたく翅を崩れる空に  
羽ばたく翅を崩れる空へ  
空を瞬いて